

環境目標の改定について

本年3月末に「グループ経営ビジョン2020 - 挑む - 」を发表し、「地球環境問題に積極的かつ長期的に取り組む」ことを掲げました。それを受けて、2008年度を達成年度として取り組んできた環境目標の改定を行うこととします。

地球温暖化対策については、「グループ経営ビジョン2020 - 挑む - 」において鉄道事業のCO₂総排出量の長期的な削減目標を掲げており、この目標達成に向けて、今回、「列車運転用電力量」、「単位輸送量当り列車運転用電力量」、「駅・オフィス等における省エネ」について、新たに数値目標を設定します。

資源循環については、従来から取り組んできた「駅・列車ゴミのリサイクル率」、「総合車両センター等廃棄物のリサイクル率」、「設備工事廃棄物のリサイクル率」について、さらに高い数値目標を設定し、取り組みを進めます。

○ 地球温暖化防止対策

【JR東日本単体】

項目	2006 年度実績	2008 年度目標	新しい目標
鉄道事業のCO ₂ 総排出量	(1990 年度比) 23%減 (213 万 t)	(1990 年度比) 22%減 (215 万 t)	(1990 年度比) 2030 年度までに 50%減 276 万 t 138 万 t[138 万 t 減]
			(1990 年度比) 2017 年度までに 32%減 276 万 t 188 万 t[88 万 t 減]

(注)「グループ経営ビジョン2020 - 挑む - 」において発表済

項目	2006 年度実績	2008 年度目標	2010 年度目標
省エネルギー車両比率	83%	82%	86%
[新設]列車運転用電力量	-	-	2%減(2006 年度比) 41.7 40.9 億 kWh [0.8 億 kWh 減]
[新設]単位輸送量当り列車運転用電力量	-	-	2%減(2006 年度比) 1.85 1.81kWh/車扣 [0.04kWh/車扣減]
[新設]駅・オフィス等における省エネ	-	-	4.5%減 (2006 年度比) 153 146 億 MJ[7 億 MJ 減]

○ 資源循環

項目	2006 年度実績	2008 年度目標	2010 年度目標
駅・列車ゴミのリサイクル率	50%	45%	70%
総合車両センター等 廃棄物のリサイクル率	90%	85%()	95%
設備工事廃棄物のリサイクル率	90%	92%()	92%

2005 年度～2008 年度平均値

○ その他の環境目標

（騒音対策）

- ・ 東北・上越新幹線の騒音対策 75 dB 以下・・・100%（2009 年度達成目標）
（騒音対策対象地域について）

（グループ会社）

- ・ 全グループ会社が具体的な数値目標を設定【新設】

（ＪＲ東日本グループ共通目標）

- ・ 事務用紙の再生紙利用率・・・100%（2010 年度達成目標）
- ・ 植樹活動への参加など（毎年具体的な環境保護活動）

[参考１：植樹活動について]

- ・ 鉄道沿線からの森づくり・・・1992 年から毎年、ＪＲ東日本エリア内の各支社で植樹活動を行い、地域のみなさまにもご参加いただいています。2006 年度までに約 3 万 6 千人のご参加をいただき、25 万本を植樹しました。今後も継続的に取り組んでいきます。
- ・ 安達太良ふるさとの森づくり・・・福島県安達太良地域の国有地で 2004 年から取り組んでいる植樹活動で、安達郡大玉村で 4 万 5 千本の苗木を植樹しました。また、2007 年からは、同じ安達太良山のふもとの二本松市で 17 種 5 万本を 2009 年までの 3 年間で植樹していきます。

[参考２：車両の系式別電力消費量の比較]

都内を走る電車の車両も省エネルギー化が進んでおり、昭和 40 年代後半から昭和 50 年代に主力だった 103 系に比べ、最新の車両等は半分以下の省エネルギー車両となっています。



2008年度環境目標の達成状況と2010年度環境目標

項目	2006年度実績	2008年度目標	2010年度目標
JR東日本単体目標			
鉄道事業のCO2総排出量	(1990年度比) 23%削減 (213万t)	(1990年度比) 22%削減 (215万t)	(1990年度比) 2030年度までに50%削減 276万t 138万t[138万t削減]
			(1990年度比) 2017年度までに32%削減 276万t 188万t[88万t削減]
省エネルギー車両比率	83%	82%	86%
【新設】列車運転用電力量	-	-	2%削減(2006年度比) 41.7 40.9億kWh [0.8億kWh削減]
【新設】単位輸送量当たり列車運転用電力量	-	-	2%削減(2006年度比) 1.85 1.81kWh/車km [0.04kWh/車km削減]
【新設】駅・オフィス等における省エネ	-	-	4.5%削減(2006年度比) 153 146億MJ[7億MJ削減]
駅・列車ゴミのリサイクル率	50%	45%	70%
総合車両センター廃棄物のリサイクル率	90%	85% (対象4年間平均値)	95%
設備工事廃棄物のリサイクル率	90%	92% (対象4年間平均値)	92%
東北・上越新幹線騒音対策75dB以下(騒音対策対象地域について)	25%	100% (2009年度達成目標)	100% (2009年度達成目標)
JR東日本グループ目標			
【新設】全グループ会社が具体的な数値目標を設定	-	-	全グループ会社が数値目標を設定
事務用紙の再生紙利用率	92%	100%	100%
毎年具体的な環境保護活動	森づくりへの参加等	森づくりへの参加等	森づくりへの参加等

2008年度環境目標の中で2010年度環境目標を設定しない項目

項目	2006年度実績	2008年度目標	2010年度目標を設定しない理由
自営火力発電所単位発電量あたりのCO2排出量	38%	40%削減	CO2排出量の管理は「鉄道事業のCO2総排出量」で行うため。
単位輸送量あたり列車運転用消費エネルギー	13%削減	19%削減	原単位の管理は、新設する「単位輸送量あたり列車運転用電力量」で行うため。
特定フロン使用大型冷凍機	91%削減	100%削減	2008年度までに目標達成が確実なため。
自営火力発電所NOx排出量	71%削減	63%削減	現状の技術レベルで可能な対策が完了したため。
一般廃棄物のリサイクル率	43%	43%	全グループ会社が個別に数値目標を設定することとしたため。

(注)2008年度目標については、継続して目標達成状況のフォローを行う。